

西キューバ、モンカダにおける白亜紀/第三紀境界津波堆積層について

The Cretaceous/Tertiary boundary tsunami deposit at Moncada section, western Cuba

中野 陽一郎[1], 多田 隆治[2], Manuel A. Iturralde-Vinent[3], 山本 信治[2], 鎌田 友果[1], 田近 英一[4], 豊田 和弘[5], 清川 昌一[6], 大路 樹生[2], 後藤 和久[1], 高山 英男[7], 松井 孝典[1]

Yoichiro Nakano[1], Ryuji Tada[2], Manuel A. Iturralde-Vinent[3], Shinji Yamamoto[4], Tomoka Kamata[5], Eiichi Tajika[6], Kazuhiro Toyoda[7], Shoichi Kiyokawa[8], Tatsuo Oji[9], Kazuhisa Goto[4], Hideo Takayama[10], Takafumi Matsui[11]

[1] 東大・理・地球惑星, [2] 東大・理・地質, [3] キューバ自然史博物館, [4] 東大・理・地惑, [5] 北大・院地球環境・物質, [6] 九大・理・地惑, [7] NHK名古屋

[1] Dept. of Earth and Planetary Sci., Univ. of Tokyo, [2] Geol. Inst., Univ. of Tokyo, [3] Museo Nacional de Historia Natural, [4] Earth and Planetary Sci., Tokyo Univ, [5] Earth and Planetary Phys., Univ. of Tokyo, [6] Dept. Earth Planet. Sci., Univ. of Tokyo, [7] Environ. Earth Sci., Hokkaido Univ., [8] Earth & Planetary Sci., Kyushu Univ., [9] Geological Institute, Univ. of Tokyo, [10] NHK Nagoya, [11] Dept. of Earth and Planetary Phys., Univ. of Tokyo

西キューバのモンカダ層は約2mの弱変成をうけた砂岩複合層で、上方へむかって細粒化し、層厚が薄くなるユニットの繰り返しからなる。また、豊富な衝突起源物質や見積もられた化石年代は、モンカダ層が白亜紀-第三紀境界層であることを指示している。いくつかの層準で見られる斜交葉理層は、モンカダ層が南北方向の流れ場で堆積したことを示している。また、流れ方向の逆転に対応した碎屑物の入れ替わりも観察されている。こういった特徴は、モンカダ層が白亜紀-第三紀境界における津波起源の堆積層であることを示唆している。